



平成19年に向けて

後援会長 横溝孝二

皆様、新年明けましておめでとございませう。健康やかに平成19年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より新藤信夫議員の活動に対し、皆様から温かなご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新藤議員も皆様から応援をいただき初当選させて頂いてから4回目の正月を迎え、今年もお寄せ頂くご期待とご要望に誠意を持ってお答えし、日々の課題に取り組みべく新たな気持ちを持って元気をむかえてまいります。

今年は、亥年、猪が豚の肉は万病を防ぐと言われることから、無病息災に象徴される年とも言われてきました。しかし戦後の歴史を振り返ってみると悪運同様の干支のように思えます。昭和22年には、今、改正論議が盛んに行われている日本国憲法が施行されています。昭和34年には伊勢湾台風の襲来により5万人にのぼる死者を出した一方で、皇太子様（現在の明仁天皇）と正田美智子様が御結婚された年でもあります。しかし、昭和46年はドル・ショック、昭和58年には大韓航空機爆破事件、日本海中部地震、さらに平成7年には阪神大震災と地下鉄サリン事件が発生するなど日本にとっては災難の干支になってきました。さいたま市にとっては、昨年が浦和レッズの天皇杯優勝に始まり、レッズの24年ぶりのJリーグ制覇で幕を閉じた華々しい年であっただけに、この喜びが今年も続くことを願うと共に平穏な年であってほしいと祈っております。

さて、さいたま市においては今まで手掛けてきたノースプラザや浦和駅西口開発など大規模施設がオープンを迎える年であり、中でも大宮市時代から市民の憩いであった鉄道博物館が10月14日にニューシヤトル大成駅に隣接してオープンします。政治的には4月の統一地方選挙（市会議員選挙、



政令市市議会議員連盟研修会にて
 右側は川口順子元外務大臣

県議会選挙）、7月の参議院選挙、8月から9月の埼玉知事選挙と4つの選挙が予定されており変動の年と言っても過言ではありません。全国的には、すでに人口減少が始まっていますが、東北日本の玄関口となる大宮駅を要するさいたま市には、これからも多くの人が集まり、若い力と実力のある企業が立地し、大きなポテンシャルエネルギーを持ったまちとして発展していくことでしょう。新藤議員には、これからも多くの面において、さいたま市の環境がより充実したものとなるよう皆様のご要望に添えてもらうことを期待します。

悲願の初優勝 浦和レッズ

●12月2日 Jリーグ最終戦 埼玉スタジアム2002

11月26日のFC東京戦で優勝を決められなかった浦和レッズは、この日、ホームの埼玉スタジアムにて優勝をかけた最終節を迎えた。

対戦相手は昨年のJリーグ王者であり、今シーズン恒に浦和と優勝争いをしてきたガンバ大阪。埼玉スタジアムにはJ1最多の62,241人の観客が押し寄せ、ほぼ赤一色に染まった。

試合は、ガンバ大阪に先制されたものの3対2でレッズが勝利しJ1優勝を決めた。優勝の瞬間から「We are REDS」の歓喜に渦巻いたスタジアムでは、選手とサポーターとの交流が始まり初優勝に酔いしれた。



J1優勝杯

●12月4日 優勝祝賀会 ロイヤルバインズホテル

500人を超える埼玉県、さいたま市の関係者やサポーターを前に藤口浦和レッズ社長が胸を張って優勝の報告をすると共に「優勝は、ひとえに浦和レッズを受する皆様の支援のたまもの。世界一のサポーターに感謝します。」とあいさつした。

苦節14年でJ1リーグの優勝を果たした浦和レッズの選手達も比較的リラックスした様子で壇上に上がった。鏡開き、ジュースでの乾杯に続いて選手達はファンとの記念撮影や、握手をしたりしてふれあいの時間を過ごした。



退任するブッフバルト監督

この日、浦和レッズを3年間率いたギド・ブッフバルト監督は天皇杯を最後に退任することを正式に発表した。

●12月8日 県庁、市役所を表敬訪問

藤口社長、ブッフバルト監督、山田主将が埼玉県庁とさいたま市役所を訪問し、J1リーグ初優勝を正式に報告した。市役所では職員らが花束と紙吹雪で出迎えた。



優勝報告会場 さいたま市庁舎

●12月17日 優勝パレード 県庁→中山道→市役所 優勝報告会

午前10時に県庁を出発した優勝パレードには65,000人もものサポーター達が詰めかけ、監督や選手らと共に喜びを新たにした。

午前11時からは、市役所で優勝報告会が行われ駐車場を埋め尽くすサポーターを前に、選手らが市役所4階のバルコニーに登場。シャンパンを空けて優勝を祝った。

ブッフバルト監督がサポーターへの感謝と愛情の気持ちを表すと、会場からは「浦和レッズ」コールが何度もこだました。

この優勝によって浦和レッズが「サッカーの街さいたま」の名を日本中に轟かせた功績は非常に大きい。今年のアジアチャンピオンズリーグの優勝に向けてさらなる皆様の応援を期待しています。



市庁舎駐車場を埋めたサポーター

●大宮アルディージャ シーズン成績 13勝5分け16敗、勝ち点44、12位 最後の3連勝で有終の美を飾った。

平成19年10月には大宮サッカー場の改修工事も完成することから、大きな活躍を期待します。

ケヤキの保存

ケヤキ保存の署名(要望書)を市長に提出

都市計画道路三橋中央通り線の三橋2丁目B21番地内(岩井鮮魚店敷地内)にある「ケヤキの保存」署名が10月初めで終わり、4,133名の署名をいただき、さいたま市長に11月20日に提出しました。この日は、「三橋中央通りのケヤキを保存する会」から柳田会長をはじめ4名、市役所からは、相川市長と滝瀬建設局長が出席され、立会者として紹介議員である石塚真議員と私(新藤信夫議員)が同席しました。席上、建設局長から「現地においては丈量測量(境界測量)と縦横断測量が終了し、道路の詳細設計に入ったところであり、この中でこのケヤキを残せるかどうかの検討を行う。」との回答をいただきました。

これに先立つ9月25日には、三橋中央通り線の設計担当である北部建設事務所の担当者及び設計コンサルタントで現地立会を行い詳細な計測を行い、また、11月末にはケヤキを中心にグリーンベルトを設けた道路計画図(案)を閲覧させてもらっており、北部建設事務所では当ケヤキを残す方向で本格的な検討に入っています。

当会としては、今後も市役所で行う検討経緯の報告を随時受けると共に、現地調査等への協力をしていく方針としています。

今回の署名受付におきましては、たいへん多くの皆様のご協力に感謝申し上げますと共に、今後ともこのケヤキを見守って頂きたくお願い申し上げます。

なお、現地に設置した看板につきましては当分の間このまま設置しておきます。



平成18年11月20日
三橋2丁目 ケヤキ保存署名、提出

路上喫煙防止に向けて条例化作業始まる

さいたま市では、現行の「さいたま市空き缶等のポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例」を見直し、空き缶のポイ捨て防止に加えて歩行者への迷惑となる路上喫煙を防止するための「さいたま市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨ての防止に関する条例案(案)」をまとめ11月中旬に市民の皆様のご意見を聞くパブリックコメントを行いました。パブリックコメントでは「喫煙禁止区域内に喫煙場所を設けてほしい」、「喫煙規制よりマナーの向上に努めるべき」、「嗜好品を条例で規制すべきでない」、「喫煙者とタバコを吸わない人との共存を希望する」等の意見があり、この条例を所管する廃棄物政策課では、これら意見の内一番多かった「喫煙場所の設置」について関係する地域の自治会、商店会等の意見聴取を始めました。大宮駅の東西口には駅を出てすぐに灰皿が設置されていますが、利用者が多くなると歩行者と喫煙者との接触も見られ、新都心ケヤキ広場に隣接して設けられている喫煙スペースのように分煙が必要と思われる。

議会でも、この条例は注目されているところであり、先行する都内の各区や県内7市(川口、所沢、和光、朝霞、新座、志木、熊谷)の調査を行い、その結果いずれも施行の前後で吸い殻のポイ捨ては大幅に減っていること、また監視員の目の届くところでの喫煙がなくなってきたこと、喫煙所の設置により分煙が図られていることが、明らかとなり条例の効果が高いことが分かってきました。

この条例は議会の議決を経て、6月1日から施行される予定で、当面、大宮駅、浦和駅、南浦和駅の周辺が「路上喫煙禁止区域」に指定され環境美化指導員が取り締まりや巡回指導に当たることになります。この区域内では喫煙者は決められた場所以外道路上での喫煙はできなくなります。



路上喫煙禁止区域の指定

議員定数改定

さいたま市の議員定数については、現在は、法定定数64人に対して岩槻市の合併に伴う在任特例措置として岩槻区増加分7議員を加えた71人を特例定数としています。

これは、あくまでも暫定措置であり次の改選まで(平成19年4月30日)には64人以下まで改正されなければなりません。

実質的には4月に統一地方選挙を控えて、このときに議員数が確定していなければ選挙を行えないため、改正議員数の周知期間も見込むと12月議会中には改正条例が可決されていることが望ましいことから、自由民主党さいたま市議団では、改正に向けての議論を重ね、法定議員数よりも各区1減(10区で10減)の54議員とすることを表明し、他の会派と鋭意調整を続けてきました。しかし、議会最終日でも調整がつかず、議会運営委員長の提案した①数人程度削減する案、②大幅に削減(54人以下)する案、③法定定数の64人を維持する案の3案について2月議会に向けて協議していくこととなりました。64人を主張する共産党の抵抗もさることながら、議員の身分に関わる案件に関しては全会一致を原則としている議会の方針の下で意見統一にはかなりのエネルギーが必要となる。

	現在の定数(71)	法定定数(64)	法定定数から10減(54)
西区	5	4	4
北区	8	7	6
大宮区	7	6	5
見沼区	9	8	7
中央区	5	5	4
桜区	6	5	4
浦和区	8	8	6
南区	10	9	8
緑区	6	6	5
岩槻区	7	6	5
計	71	64	54

トピックス

大宮区上小町と三橋3丁目の境界となっている県道大谷本郷さいたま線の内、バスカド動物病院から北へ信号2つ目までの間の舗装打換え工事が、1月10日から2月28日までの工期で始まりま。

この道路は、交通量も多く舗装も傷んできていたため、2年前から舗装打換えの要望を出し、中央区境から順次工事を行って来ました。実質2週間程度の工事期間となりますのでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力をお願い致します。工事完了後は路面の平坦性も向上し、車による振動・騒音も軽減されます。

旧マルエツ上小町西側道路の舗装打換え工事が昨年暮れに完了しました。

大宮駅西口のペDESTリアンデッキで約1万個の電球と約1万5千個の発光ダイオードからなるイルミネーション「イルミス大宮」が11月23日から始まり、駅周辺のにぎわいに一役買っています。

さいたま市の助成、高校生によるデザイン、企業からの資材の供給という産学官の協働による「埼玉の名所づくり」を目指しています。毎日夕方5時から点灯され、1月末日まで実施されます。



皆様からの声

先日、かみこ公園で毎年恒例となっている落ち葉の清掃作業に参加しました。新藤市会議員も参加しておられて作業をしながらお話をすることが出来ました。行政の行う身近な問題については、自治会を通じて要望を出すようにしていますが、なかなか聞き届けてもらえないことが多く歯がゆい思いをしています。最近では要望を出せば近日中に職員の方が調査には来てくれるのですが、実施までの時間があまりにも長いのではないのでしょうか。役所は予算で動いているとは言え、調査後の応急的な処置とか、今後どうして行くかの説明程度は早めにしてもらいたいものです。1時間ほどの作業時間、たいへんすばらしい議員のお考えや市の構想などを伺いながら、落ち葉に埋もれて私の愚痴を聞いて頂きました。

A.Tさん